



EUからの英国への助成金が削減されたことによる競争力の低下

UHY FAS ニュースレター / 2019年1月

EUから英国への直接付与額が、2016年の19.4億ユーロから2017年は15.5億ユーロへと約20%減少した。

エグゼクティブサマリー：

一方、ドイツ、フランスは、助成金は同期間に大幅増加

- 英国以外の他の加盟国は、同期間に助成金が大幅に増加した。ドイツへの助成金は、14億ユーロから19億3000万ユーロへと16%増加し、フランスへの助成金は、13.2億ユーロから15.3億ユーロへと増加した。
- EUの助成金を受けている分野は、農業と農村開発、気候変動、デジタル社会、移民、海事と漁業などがある。
- 英国財務省は、2018年7月にEUからの助成金が2020年末まで保証されたと発表していたが、実際はEU離脱前から減少していた。
- 昨年5月、欧州委員会が結束政策の支出について、ポーランド、ハンガリー、チェコスロバキアなど中東欧向けの支出を減らし、ギリシャ、イタリア、スペインなど金融危機で深く傷ついた南欧向けを増やす方針とした。しかし、Brexitの開始前からEUは財政的拠出を減らしていることに注意を払うべきである。
- シェフィールド・オフィスのAndrew Hulse パートナーによれば、英国ビジネスが、当該助成金を受けられるドイツやフランスの企業と比較して、競争力が長期的に低下する状況になるかもしれない、という。

本文は、UHY hacker young 事務所が作成したものを、UHY FAS が抄訳したものです。ご質問やご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。



コンタクト

株式会社 UHY FAS

齊藤 守人 - バイス・プレジデント

Email: saito.fas@uhy-tokyo.or.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 7-3-37 プラース・カナダ 3F

Tel: +81 3 5410 1395 / Fax: +81 3 5410 2475

Website : <http://www.uhy-tokyo.or.jp/uhy-fas>

